

教育委員会会議録

(臨時会)

平成28年10月24日開催

さいたま市教育委員会

- 1 期 日 平成28年10月24日(月)
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 開 会 午後1時00分
- 4 出 席 委 員 委 員 長 大 谷 幸 男
 委員長職務代理者 石 田 有 世
 委 員 平 澤 奈 古
 委 員 野 上 武 利
 教 育 長 稲 葉 康 久
- ※石田委員長職務代理者は15:00退席

- 5 議場に出席した者
- 副教育長 村 瀬 修 一
 管理部長 久保田 章
 学校教育部長 五十嵐 圭 一
 学校教育部参事兼高校教育課長 槇 拓 治
 教育総務課長 西 林 正 文
 さいたま市立浦和高等学校長 大 竹 実
 さいたま市立浦和南高等学校長 杉 林 正 敏
 さいたま市立大宮北高等学校長 細 田 眞由美
 さいたま市立大宮西高等学校長 関 田 晃

- 6 会議録署名委員 野 上 武 利

7 議事等の概要

大谷委員長 ただ今から教育委員会会議を開会いたします。本日は傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。

書記 いらっしゃいません。

大谷委員長 本日の会議録の署名委員は、野上委員にお願いいたします。

議案第52号 平成29年度使用さいたま市立各高等学校教科書の採択について

大谷委員長 それでは、議案第52号につきまして、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長 まず、提案理由でございます。市立各高等学校におきましては5月から7月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会において、学校の特色や生徒の実態に即しながら、綿密な調査、研究を実施し、平成29年度に使用を希望する教科書を選定しました。

高等学校で使用する教科書につきましては、高等学校用教科書目録に登載されているものの中から採択することとなっております。また、小学校用及び中学校用の教科書の採択の流れとは異なり、採択地区及び採択期間の定めがございません。採択権者である教育委員会が、年度ごと、高等学校ごとに教科書を採択することとなっております。

次に、お手元の資料について御説明いたします。

まず資料1「教科書採択のための資料」を御覧ください。採択していただくための調査資料を、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順に綴じてございます。学校ごとに、始めに選定方針を示しました。続いて教科書一覧表、次にそれぞれの教科書の選定理由書、最後に教科書選定概要報告書を示してございます。

高等学校におきましては、現行の学習指導要領が実施されてから今年度で4年目となります。平成29年度につきましては、教科書を継続して使用する場合最長の年数は5年となります。また、学習指導要領を先行実施していましたが数学、理科に関しましては、継続の最長年数は6年でございます。なお、前年度と同じ教科書を継続して使用する場合は、選定理由書にその継続年数を示してございます。

続きまして、資料2の「教科書採択に係る根拠法令・仕組み・スケジュール等」についてでございます。1ページに教科書採択に係る根拠法令、2ページにさいたま市の教科書採択の仕組み、3ページに高校の教科書採択スケジュール、4ページ以降は教育委員会からの通知等をまとめました。

この後、4校の校長から説明をいただきます。説明の順番については、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順でよろしいでしょうか。

大谷委員長 それでは、各委員の皆様にお諮りしますが、まず浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順で校長から説明を受け、各学校との比較もあるでしょうから一括して御質問、御意見を伺うということでもよろしいでしょうか。

各委員 <異議なし>

大谷委員長 それでは浦和高等学校長から説明をお願いします。

浦和高等学校長 お手元の資料の1ページから16ページまでが本校の資料です。本校の教科書選定の経緯につきまして、御説明申し上げます。資料2ページの選定方針の3にありますように、本校生徒の学力や興味・関心等の実態に対応し、かつ、基礎・基本の確実な定着や個々の能力に応じた伸長を図れる教科書であるということを視点に、新規教科書を11冊、継続で34冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を資料の16ページのように開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

御存じのとおり、本校は中高一貫教育校であり、高校の各学年の学級編成は、浦和中学校からの内部進学生が2クラス、高校からの高入生が6クラスの計8クラスからなっています。内進生と高入生は、入学後の3年間、別々のクラスで学習し、同じクラスになることはありません。また、内進生は、中学校で「つなぎ学習」という形で、一部、高校の教員による授業を受けてきています。このような状況を踏まえて、具体的な説明をさせていただきます。

まずは、物理基礎ですが、内進生と高入生で異なる教科書を選定しております。内進生は「物理基礎318」を選定しましたが、この教科書は、かなり発展的な内容が豊富に載せられています。内進生は、中学校で物理の学習をしてきますので、発展的内容を必要に応じて選択しながら学習を進めています。また、内進生は、2年生でも物理基礎を履修することになってはいますが、この「物理基礎318」の巻末には上位の教科である物理の内容が載っています。3年生に履修する物理を2年生の早いうちから学習するという意図も込められています。高入生につきましては、はじめて物理を学習することから、基礎的内容がしっかりと押さえられている「物理基礎319」を選定しました。

また、化学基礎につきましては、内進生は1年生の必修科目、高入生は2年生の、理系での必修科目、文系では選択科目としているため、発展的内容の多い「化学基礎321」と、大判でセンター試験レベルに対応できる「化学基礎314」の2種類を選定しています。

他の科目におきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただきました。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

それでは、次に浦和南高等学校長から説明をお願いします。

浦和南高等学校
長

お手元の資料の17ページから33ページまでが本校の資料です。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

選定方針でございますように、確かな学力の定着や大学進学のための実力練成のために記述や資料等が生徒に理解しやすいものであるとともに、導入や題材、論の工夫がなされ、効果的な内容となっていることを重視し、新規教科書を20冊、継続で26冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を32、33ページのように開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

以下、具体的に申し上げます。

今年度新規に選定した教科書のうち、同じ教科書会社の改訂版や新訂版の教科書も新規扱いとなりますので、これらを除いた教科書7冊のうち、数学Iとコミュニケーション英語Iを例にとって御説明させていただきます。

まず、数学Iは、東京書籍の「数学I Standard」を新規に選定いたしました。これまでは、同じ東京書籍の「新編数学I」を使用していましたが、この度新刊でStandardシリーズが出た関係で、こちらを選定し、併せて数学Aも「数学A Standard」にいたしました。理由は、これまでの新編と比べて、レベルが基本、標準、応用、入試と幅広く取り扱われていて、数学が苦手な生徒から得意な生徒まで幅広く存在する本校生徒の実態に合った教科書であると考えたからです。

例えば、数学Iの2次関数のところで比較して見た場合、例題の説明がより丁寧で、内容も豊富になっています。一方で、「Challenge」という例題で難易度の高い問題もしっかり扱うとともに、参考問題や発展問題で余力のある生徒たちに対応できる内容にもなっています。また節末問題の「Training」は新編よりやや難しめになっていますが、ここで本文内容の定着を進め、章末問題の「Level Up」では本文で扱わなかった難易度の高い問題に挑戦するような構成となっています。

次に、コミュニケーション英語Ⅰは、啓林館の「ELEMENT」を選定いたしました。これまでは、第一学習社の「Perspective」を2年間続けて使用してきましたが、本校生徒には内容的にやや難しいのではないかという話が英語科教員の中で上がってきました。そこで、以前本校で使用した実績のある教科書の中で、啓林館の「ELEMENT」に行き着いた次第です。「ELEMENT」は、本文が見開き2ページで配置されていて見やすいなど構成面で優れ、以前使った際の生徒の理解程度も良かったとの認識があります。レッスンごとの理解のまとめのほか、語彙、文法、演習も分かりやすく、本校生徒が力を付けていくにふさわしいと確認いたしました。

また、リスニング練習もレッスンごとについていることなどからも、総合的に英語の4技能を身に付けさせる上で、本校生徒に最適な教科書と判断いたしました。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

ありがとうございました。それでは、次に大宮北高等学校長から説明をお願いします。

大宮北高等学校
長

お手元の資料の34ページから48ページまでが、本校の資料です。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

選定方針でございますように、目指す学校像の実現のため、個々の能力を伸長し、確かな学力の定着が図れること、並びに生徒の興味・関心に即したもので、大学進学に対応できる効果的な内容となっていることを重視し、新規教科書を26冊、継続で18冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を48ページのように開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

本校は御案内のように平成26年度から、それまで長い歴史をもっておりました普通科に加え理数科を併置いたしまして、理数科、普通科の併置校として再スタートいたしました。本年度は、理数科生が1年生から3年生まで在籍することとなり、また、悲願のSSHの指定を受けることもできました。さらなる教育活動の進化が求められるところでございます。

具体的に申しますと、理科の「生物」では、こちらの数研出版の「改訂版 生物基礎」と「生物」の教科書を選定しております。SSH指定校となったことで、オーソドックスな内容がバランスよく取りまと

められているということを非常に重要なポイントとしました。生徒はSSH指定校、理数科設置校として、非常に幅広い教育活動を受けることとなります。教科書以外のところでも、いろいろな情報や様々な体験活動も入ってくるので、教科書ではコアな部分を徹底的に固めたいということでございます。コアな部分が徹底的に固められれば、センター試験や個別学力試験等に対しても十分に対応できます。また、理科や数学に非常に興味を持っている生徒や学習の進度の早い生徒にもそれぞれの個別の活動で補完することができます。

もう一点、具体的な例を申しますと、本校の目指す学校像にありますが、SSH指定校として国際社会をリードする人材を育成するということを考えておりますので、英語の教科書につきましては、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱで「PRO-VISION」という教科書を選定いたしました。この教科書は、発信型の構成であるということが特徴です。各レッスンにおいて、グラフから情報を読み取ったり、ディスカッションをしたり、ワークショップ形式で意見を出し合うという教育活動が可能であります。また、本校はICTの環境が非常に整っており、そのICTを活用していくデジタル教科書など、ICTを活用している本校にとってふさわしい教科書であると考えております。

以上の2点について、お話しさせていただきましたが、他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

ありがとうございました。それでは、次に大宮西高等学校長から説明をお願いします。

大宮西高等学校
長

お手元の資料1の49ページから62ページまでが、本校の資料です。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

選定方針でございますように、確かな学力の定着のために、導入や題材、論の工夫がなされていること及び生徒の興味・関心や考察力などの実態に十分対応したものであることを重視し、新規教科書を20冊、継続で22冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を62ページのように開催し、第1回目の選定委員会で選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

具体的に御説明申し上げます。校長といたしましては、選定委員会で、選定方針を伝えるとともに、選定の観点となる部分をわかりやすくするために、教科書に付箋を貼るよう指示をいたしました。

コミュニケーション英語を例にとって御説明申し上げます。コミュニケーション英語Ⅰは啓林館を選定しました。

本校は来春の生徒募集が最後となり、その入学生が3年生になる31年度当初に新たな中等教育学校の1年生が入学してきます。つまり、1年生向けの教科書は、本校にとって最後の選定となります。2年前の中等教育学校への改編が発表された時に、本校では、この発表によって次年度の志願者が激減し、これまでと同等の学力の生徒が受検しないのではといった懸念が生じました。そのため、これまでよりも少し平易な教科書を選定しましたが、30人学級の実現、海外交流事業費の増額等の取組を行ったことで、本校に魅力を感じた中学生が多く受検し、現在の2年生に当たりますが、従来を生徒を上回る成績で入学してきました。ところが先ほど申し上げたとおり、その半年前に教科書はこれまでより平易なものに決定していたので、それを受けて昨年度の選定では、現在の1年生が使う教科書ですが、以前のレベルに戻したところです。

来春が最後の募集で、本校にどこまで魅力を感じてもらえるか懸念しております。そこで考えたのが啓林館の「LANDMARK FIT ENGLISH」です。啓林館は、「FIT」のついていない教科書も発行しております。この2つの教科書は、単元は全て同じ内容で構成されておりますが、表現、文法事項、学習内容は「FIT」の方が幾分平易にできています。

「FIT」で取り組んで、来年度の入学生に対して教科書のレベルが平易なようでしたら、「FIT」のついていないこちらの内容を補助教材で使うことを考えており、教科書会社にも了承を得ました。本校がコミュニケーション英語で取り組んでいる少人数学級編成について、2クラス3展開のうち、1クラスを比較的英語が得意な生徒の講座にし、その講座については、発展的な内容を盛り込みながら授業展開をしようと考えています。また、これまでも英語の1年生の必修である英語表現Ⅰは、啓林館を使っていたので、同じ啓林館で組み合わせさせてやってみようということも考慮したところです。

いずれにしても教科書選定委員会の場で、選定方針以外に私が教員に指示をしたことは、最後の大宮西高校の生徒として本校を選んでくれる生徒が入学をして、後輩が入ってこない中、本校を選んでよかったと思ってもらえる学生生活を保障するという観点で教科書を選ぼうということでした。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

ありがとうございました。

それでは、今の説明を受けまして各委員より率直な御意見、御質問をいただきたいと思います。

石田委員長職務
代理者

教科書選定委員会のメンバーは校長がお決めになられたと思うのですが、その平均年齢と、毎年度継続して委員になられているのかお伺いしたいと思います。

浦和南高等学校
長

平均年齢は把握しておりませんが、構成としては、校長、教頭のほか、教務主任、教務部の教科書係2名、各教科の代表者である教科主任となっております。教科主任については、一人しかいない教科は別ですが、基本的には年替わりとなっております。

大宮北高等学校
長

ただ今浦和南高等学校長から説明があったとおり、本校もそのような構成となっておりますが、平均年齢は把握しておりません。

大谷委員長

浦和高校と大宮西高校も同じでしょうか。補足があればお願いいたします。

大宮西高等学校
長

教科によっては教員の数が少なく、例えば情報は一人しかおりません。また、芸術は美術のみが専任の教諭で、音楽と書道は臨時的任用の教員です。そのような少数で構成される教科は、毎年同じ教員が選定委員となりますが、他の教科はできるだけ選定委員を変えるよう配慮しています。

石田委員長職務
代理者

ありがとうございました。同じ委員がずっと携わるのは良くないと思います、質問させていただきました。

稲葉委員

確認ですが、選定委員のメンバーで教科書の執筆に関わっている方は入っていないでしょうか。

浦和高等学校長

執筆者で関わっている教員はおりませんが、教科書会社から教科書についての意見や要望を求められ、文書をもって回答したという形で編集に関わった家庭科の教員がおります。回答は一度であったと聞いております。もちろん、選定委員会においては、管理職と家庭科の教員を含めた選定委員のメンバー全員で教科書について検討し、選定を行っています。

大谷委員長

編集者として関わった教科書が今回選定されているということでしょうか。

浦和高等学校長

そうでございます。お手元の資料にも記録がありますが、6月8日

の家庭科教科会におきまして管理職及び家庭科の教員で、教育図書の「家庭基礎」を選定する原案を決定しております。この教科書は内容が非常に豊富であり、例えば住居学など、専門的な知識に関する内容もあります。本校には、そのような内容が入試問題として出題される大学を受験する生徒もおりますので、この教科書が適切であろうということで選定しております。実際に、教育図書の教科書にしかない内容が大学の入試に出題されるということもあります。

大谷委員長 これについてはどうなのでしょう、問題は無いのでしょうか。少し調べてみる必要がありますので、暫時休憩といたします。

<休憩>

大谷委員長 それでは、浦和高等学校の家庭科については一旦保留として、その他の議論を進めるため再開いたします。

稲葉委員 大宮北高等学校に世界史の教科書が掲載されていないのはどうしてでしょうか。

大宮北高等学校
長 平成29年度につきましては、教育課程のちょうど狭間となり、お手元の資料には掲載されていません。3年生のみ継続で教科書を使います。今まで必修である世界史は1年生で4単位履修しておりましたが、その履修の学年を2年生にしましたので、平成29年度の入学生は2年生になったときに新たに履修することになります。

稲葉委員 世界史はどここの会社の教科書を使っているのでしょうか。

大宮北高等学校
長 山川出版社でございます。

稲葉委員 美術がⅠ、Ⅱ、Ⅲとある学校とⅠ、Ⅱしかない学校があるのはどうしてでしょうか。

大宮西高等学校
長 芸術の必修科目というのは、Ⅰだけです。Ⅱ、Ⅲについては選択科目ですので、学校によっては履修しません。

野上委員 大宮北高等学校について、42ページに物理の教科書が4冊並んでいますが、選定理由が1から4までであるうちの2、3、4は、4教科書全て同じことが書いてあります。やはり、教育委員会が採択をする

とき、こういう特色や有意性があるので生徒が理解しやすいだろうといった理由で採択するわけですから、この教科書を選んだ理由があまり伝わってきません。

大宮北高等学校
長

確かに安易な記述であることは否めません。しかし、数研出版の一連の物理の教科書はシリーズものになっております。非常に難しい教科書ではございますが、本校は、SSHの指定校であるということで、本校のレベルに合致しているということが第一義でございます。それが、「記述が詳しく、内容が深い。入試にも対応できる内容である。」という記述に集約されているということで、御理解いただければと思います。また、3年生については継続のもの、2年生については新規のものということですが、記述はほぼ同じであり、図表の位置が若干変わる程度ですので、教科書自体は大きな変更はございません。

野上委員

この教科書は他の教科書と比べてこの点が優れているなどと選定理由を示すべきで、毎年こういう書き振りを続けられますと、生徒にどういふことを先生方は教えたいのかと若干疑問が出てきます。今回は校長先生の説明で意図することは分かりました。

大谷委員長

こういった記述ではあらぬ誤解を受けかねないので、今後気を付けていただきたいと思います。

野上委員

別の質問ですが、伊藤博文首相は「暗殺」なのか「射殺」なのかという記述の問題はどうでしょうか。例えば山川出版社は、同じ著者なのに「暗殺」と「射殺」を教科書によって使い分けたりしています。特に外国に進出している企業は、児童生徒が大人になって不確かな知識で社会に出ていくことのないよう、一貫性を持った歴史教育をしてほしいという要望を持っております。

大谷委員長

今回選定されている教科書は全て「暗殺」という言葉を使っているのではないかと思いますでしょうか。

浦和南高等学校
長

本校では日本史、世界史とも山川出版社を使用しており、今確認しましたが、「暗殺」と記述されており、南京で起きた事柄についても「南京事件」と記述されています。

大宮北高等学校
長

地歴公民の教科書の選定につきましては、思想の偏った著者でないことや、表現についても十分に選定委員並びに教頭が吟味をし、生徒にとって最良の教科書を選定することを校長として指導しています。

大谷委員長

そのポイントは他の2校も大丈夫ですね。他にございますか。

平澤委員

これはお願いなのですが、保健体育の教科書は、今年度4校とも同じ教科書を選定しており、確かこの教科書以外の教科書は2冊あったと思いますが、そこにはパラリンピックのことが掲載されていて、選定された教科書には掲載されておられません。障害者、バリアフリー、ユニバーサルデザインといったことについては選定された教科書にも掲載されているし、他の教科でも触れることだと思いますが、障害者がケアされる側ではなく、自らの力を発揮する場という意味でパラリンピックを高校生の皆さんに知っていただくことは、健常者である生徒の皆さんにとっても大事なことだと思います。保健体育は、もちろんパラリンピックのことだけでなく、その他に重要な内容が多くありますので、今回選定された教科書はそういった点で優れているのだと思います。是非来年度から選定するときには、そういった障害者スポーツに対する見方というのが教科書でどのように取り上げられているのかといったことを一つの視点として持っていただきたいです。また、教科書に載っていなかった分を授業でフォローしていただければと思います。

大宮西高等学校
長

平澤委員の御意見は、昨年度もお伺いしましたし、教科書選定の際にも我々は十分に留意しております。パラリンピックについては、高校生が知らないということはまずございません。様々なところで見聞きし、他の授業でも取り上げております。ましてや2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控えており、高校生にとっても関心の高いものでございます。今日参考にお持ちしましたが、こちらが本校の新聞部が作った大宮西高新聞で、毎年全国大会に出展させてもらっていますが、「障害と向き合う」というパラリンピックに関する記事で、リード文には「9月7日から18日の12日間にかけて、リオデジャネイロパラリンピックが行われた。日本からは22種目に17歳から68歳までの幅広い年齢の選手が出場し、銀メダル10個、銅メダル14個計24個のメダルを獲得した。」とあります。また、本文には「パラリンピックは全世界にたくさんの勇気と希望を与えている。そんな中で未だに障害者への偏見や差別は絶えない。」ともあります。本校の新聞部の生徒は9月24日に、埼玉大学教育学部の宗澤忠雄准教授が行った市民講座で「共に生きる街を創るーさいたま市ノーマライゼーション条例づくりからー」と題した講演会に参加してきました。その後、さいたま市の取組について、指導2課の特別支援教育係長に取材を申し込み、それを記事にして全校生徒に配布しているわけです。

が、本校の生徒は新聞部が作成した新聞を読み、主張をきちんと理解しております。これは一つの例ですが、高校生がパラリンピックについて関心を示さないということはまずありません。

大谷委員長 今御指摘があったのも大事な観点ですので、学校で取組をお願いいたします。

私からいくつか質問をしたいと思います。

大宮北高校の理数科、浦和高校の内進生については教科書の早期使用をしているのか、またその場合、市教育委員会に許可を求めているのでしょうか。

浦和高等学校長 早期使用を行っているものもあり、教育委員会へ許可を求めて使用しています。本校はつなぎ学習ということで、高校の教員が中学校の授業に出ております。その際には教科書を使わずに内容を教えるということもしています。

大宮北高等学校長 本校は、理科、数学について許可を得て早期使用をしております。

大谷委員長 国語総合は分冊と1冊本がありますが、指導者が違うのかどうか教えてください。私のときは、現代文、古典、漢文と3人から教わっていましたが。

浦和高等学校長 本校の国語総合は担当者が一人で、今年から分冊とし、去年までは1冊のものを使用していました。

大宮北高等学校長 本校は、現代文1人、古典、漢文で1人と2つに分けて使用しております。

大谷委員長 浦和南高等学校にお聞きしたいのですが、地理の教科書で、二宮書店の教科書を選定されていますが、どのような経緯で選定されたのでしょうか。

浦和南高等学校長 本校では、平成27年度から二宮書店の教科書を使用しております。地理の学習には系統地理と地誌がありますが、二宮書店のものは、系統地理の面で自然環境に関して詳しく説明されており、教員としても教えやすく、生徒にもわかりやすい内容でございます。また、地理は図版資料が大切ですが、二宮書店は生徒が学習活動に取り組みやすい内容となっております。本校は、地図の教科書に帝国書院を使用して

いますが、地理Bを二宮書店とすることで、帝国書院で扱っていないものを二宮書店で扱っているといったケースもありまして、いろいろな資料を見て多角的に勉強できるということで選定いたしました。

大谷委員長 大宮北高校に聞きたいのですが、コミュニケーション英語のⅠ、Ⅱ、Ⅲで教科書会社が違っているわけですが、有機的な関連性は特に心配はないのでしょうか。

大宮北高等学校
長 会社が違うことについては、問題ありません。4技能についてバランス良く学習していくということは、先般の高大接続システム改革会議でも一番の改革の目玉であり、それぞれの教科書の選定につきましても本校のレベルにあった教科書を慎重に選んだところでございます。

大谷委員長 他に御意見はございますか。
それでは、保留としていました浦和高等学校の家庭科の件について審議いたします。

教育長 この件につきましては、手続上問題がありますので、今回の議案は全体として撤回させていただきたいと思えます。

大谷委員長 それでは、この議案につきましては撤回を承認しますので、再度検討していただくということでよろしく願いいたします。

8 閉 会 午後3時45分